

うき消防の動き

6・7月号

(署内報)
編集・発行 宇城広域消防本部総務課
〒869-0419 熊本県宇土市新松原町 159-1
TEL 0964(22)0554 FAX 0964(22)0270
Mail honbu@ukisyobo.or.jp
URL http://ukisyobo.or.jp
平成21年7月 日発行

引揚救助九州大会出場

田中班
3年連続

第35回熊本県消防救助技術大会

陸上の部

6月2日、熊本県消防学校において第35回熊本県消防救助技術大会「陸上の部」が開催され、熊本県消防本部から精鋭302名の救助隊員が参加した。宇城消防からは、個人1種目、団体4種目に27名の隊員が出場、日夜訓練してきた救助技術を競った。競技の結果、「引揚救助」の田中班が、7月17日に県大会に引き続き熊本県消防学校で開催される九州大会出場権を得た。

田中班が、7月17日に県大会に引き続き熊本県消防学校で開催される九州大会出場権を得た。

「引揚救助」の田中班が、7月17日に県大会に引き続き熊本県消防学校で開催される九州大会出場権を得た。

基礎訓練の部

「はしご登はん」には4名の隊員が出場した。宇城のトップバツターとして林田隊員が出場、結索のミスでタイムロス、1年のプランクがあったベテランの金子隊員も結索、カラビナのミスがあり、共にいつもどおりのタイムを出すことができなかった。「ブリ救」の3番員から一転、は

連携訓練の部

「ほふく救出」には3チームが出場した。宇城大会を1位で突破した阿川班であったが、検索ロープが絡まり、途中棄権となった。藤本班は、全体的に流れていたものの、タイムが伸びなかった。竹村

「ほふく救出」には3チームが出場した。宇城大会を1位で突破した阿川班であったが、検索ロープが絡まり、途中棄権となった。藤本班は、全体的に流れていたものの、タイムが伸びなかった。竹村

「ほふく救出」には3チームが出場した。宇城大会を1位で突破した阿川班であったが、検索ロープが絡まり、途中棄権となった。藤本班は、全体的に流れていたものの、タイムが伸びなかった。竹村

住宅防火診断

(南消防署豊野分署)

南消防署豊野分署が6月9日・18日に、宇城市消防団豊野方面隊女性消防隊と合同で、65才以上の一人暮らし高齢者を対象とした住宅防火診断を行った。住宅防火診断の訪問宅では、防火診断の訪問宅では、防火を呼びかけた。



診断中の豊野方面隊女性消防隊

終始笑顔の和やかな雰囲気です。火を使用する場所の火の元点検を行い、日頃の火の用心や住宅用火災警報器の設置が義務化されたことなどを説明し、防火を呼びかけた。

防火教室

南消防署



濡れタオルによる消火に挑戦中

特別防災月間の一環として南消防署で防火教室が開催された。婦人、シルバー、保育園・幼稚園防火教室の三教室を開催し総勢97名の参加者が防火について学ばれた。天ぷら油の火災

水質事故対策訓練

浜戸川大橋 下流



吸着マットの回収作業

6月4日に下益城城南町の浜戸川大橋下流の河川敷において、水質事故対策訓練が行われた。訓練には、白川・緑川水系内の市町村、県地域振興局、保健所、消防機関、警察署、河川管理者等の46機関の約90名が参加した。訓練内容は、「ビニールハウスのボイラー用燃料のA重油500ℓが漏れ、用水路を伝って

で流出した油を回収処理するという訓練を行った。スムーズにいったところ、なかなかだったところはあったが、とても充実したものとなった。今後の災害時にはこの訓練が活かされてくるであろう。

防災・国民保護訓練（宇城市）



南消防署に集結した宇城市消防団（松橋方面隊）

宇城市で5月17日（日）に「平成21年度宇城市防災訓練及び国民保護訓練を実施して、応急活動体制及び国民保護等の態勢整備の資とする」との目標を掲げ訓練が行われた。

防災訓練として、宇城八代地方は集

中豪雨となり、宇城地域全域の河川が、氾濫危険水位に達するともに数件の火災が発生、また三角地区においては、土砂崩れのため三角東港付近が孤立し、高潮警報が発令されるといった想定で行われた。国民保護訓練では、三

人権研修開催

南消防署研修室

「人がかがやくまちづくりをめざして」を演題として、南関町教育委員会 人権教育指導員「大里 耕守」氏を講師に招き、5月21日、22日に南消防署研修室において、本年度第1

れ、県から八代への避難指示が発令されるといった想定で行われた。

この訓練は消防関係

を始め、医療関係・自衛隊・宇城市建設業組合・宇城市婦人会等が参加し、消火連携訓練・土のう構築訓練・住民避難訓練・炊き出し等が、宇城市で行われた。

回目の人権研修が開催された。その中で、現在の人権をめぐる状況を伝えられた。人権とは、かけがえのないすべてのいのち、つながりあう人間関係、違いを認める人権感覚を養い人権に向き合うため、わたし（自分自身）の人権感覚をみがくことが必要であると述べられた。まとめとして「人にやさしいまちづくり」のキーワードとして、（自立・尊厳・ケア・自己実現・参加）であり、日常の職務に「広域行政マン」としての自覚を持ち、市民の奉仕者として住民のサービスに努め、笑顔あふれる職場をつくり



研修を聞く職員



講師の大里氏

宇土市新規職員研修

北消防署において、宇土市新規職員研修が行われた。参加者は6名で、午前中は普通救命講習、午後からは、規律訓練、救助訓練、放水体験等を体験した。



はしご車乗車体験

研修レポート

宇土市役所会計課 津留 香織さん

今回消防署の研修に参加し、多くの経験させて頂き、消防の仕事の大きな責任を感ずるものとなりました。なかでもポンプ車の放水訓練で大変役に立つものでした。今までは貴重な体験となりました。消防士の方は当たり前のようにホースを持ち、的確な方向に放水されています。しかし、実際にしてみると、順序を確認し、繰り返し実施したので、深く頭に刻み込まれました。これから先、実際に心肺蘇生を行わなければならない現場に立ち会うことがあるかもしれません。今までの自分であつたら、何もできなかったと思います。しかしこれから、今回学んだことを生かし、市民を守る立場として自ら行動していきたいと思いました。午後からは規律訓練やロープ登はん、ポンプ車の放水体験など様々なこと見学や、梯子車の乗車体験など、楽

思い愛（あい）

「固定観念」を見直そう！

先月職場研修の一環として、人権学習会が2日間にわたり開催され、204名の方が参加されました。ここで学習会後のアンケートの一部をご紹介します。「人権同和問題」は、私達の無関心から始まるような気がします。自分自身関心を持ち、このような研修を受けていきたいとします。」「あらゆる所に人権問題が存在することがわかりました。今日の講演で簡単なことからでも日々気をつけていきたいとします。」「自分自身を見つめ直すと同時に個々の個人を尊重しなければならない。人は一人では生きていけないと改めて感じました。」等たくさんの意見、感想をいただきました。

- 今回参加して良かったか。 はい 167名 いいえ 7名
- これからもこのような会に参加したいか。 はい 161名 いいえ 11名

編集にあたり

はじめに、今回の「うき消防の動き」は、こちら側の理由で6・7月の合併号として発行しました。今回、初めて編集にあたり、なにげなく見ていた広報紙も、いろいろ見返してみると、編集している人それぞれの特徴があると感じました。パソコンと戦いながら、頑張っているのです。よろしくお願いします。

災害統計

	火 災	救 急	救 助
H 2 1 . 6 . 3 0 現 在	32	3,007	60
昨 年 同 期	26	3,047	53
増 減 数	+6	-40	+7

7月の行事

日 曜	行 事	場 所	時 間
2 木	宇城広域連合議会臨時会	宇城広域連合2階交流プラザ	10:00～
6 月	第35回熊本県救助技術大会(水上の部)	宇土市民プール	10:40～15:00
8 水	網田中学校職場体験学習	北消防署	3日間
13 月	松橋高校インターシップ	南消防署	2日間
14 火	危険物取扱者保安講習	火の君総合文化センター	09:30～
17 金	九州地区救助技術指導会	熊本県消防学校	09:30～13:00
23 木	防火管理講習会	南消防署	2日間
29 水	少年消防クラブ体験学習	北消防署	09:00～16:00